

【お知らせ】

R20TS0326JJ0100

Rev.1.00

2018.07.01 号

CAN 通信の応答時間に関する問題を早期に解決！

E2 エミュレータ CAN 通信時間計測ソリューションのご紹介

概要

「開発効率の向上」がコンセプトの高機能オンチップデバッグエミュレータ E2 エミュレータの製品概要と、RH850 ファミリー向け「CAN 通信時間計測ソリューション」についてご紹介します。E2 エミュレータをご使用いただくことにより、CAN 通信応答時間に関する問題の早期解決に寄与します。

1. E2 エミュレータの製品概要

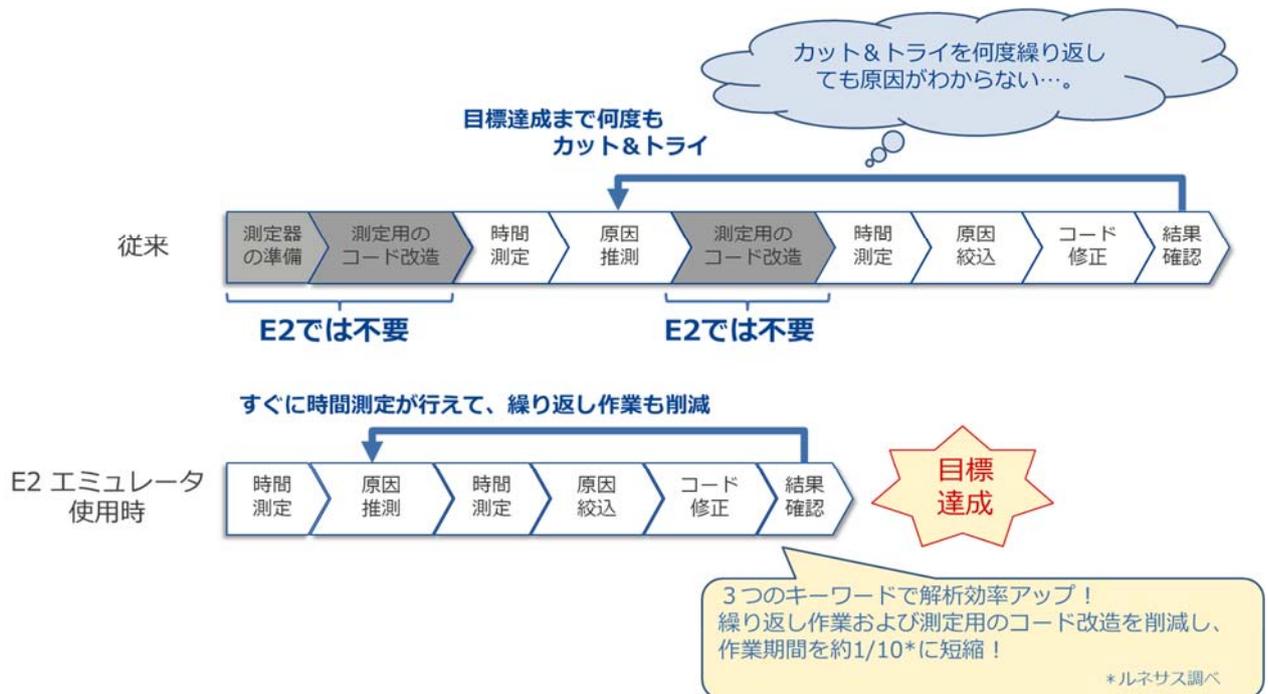
E2 エミュレータは、「開発効率の向上」をコンセプトとした高機能オンチップデバッグエミュレータ兼フラッシュプログラマです。ダウンロード速度は E1 エミュレータよりも最大 2 倍に高速化しました。今回ご紹介する「CAN 通信時間計測ソリューション」をはじめ、今後も各種ソリューションとの組み合わせにより、開発時間の削減に貢献します。

E2 エミュレータの詳細は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2>

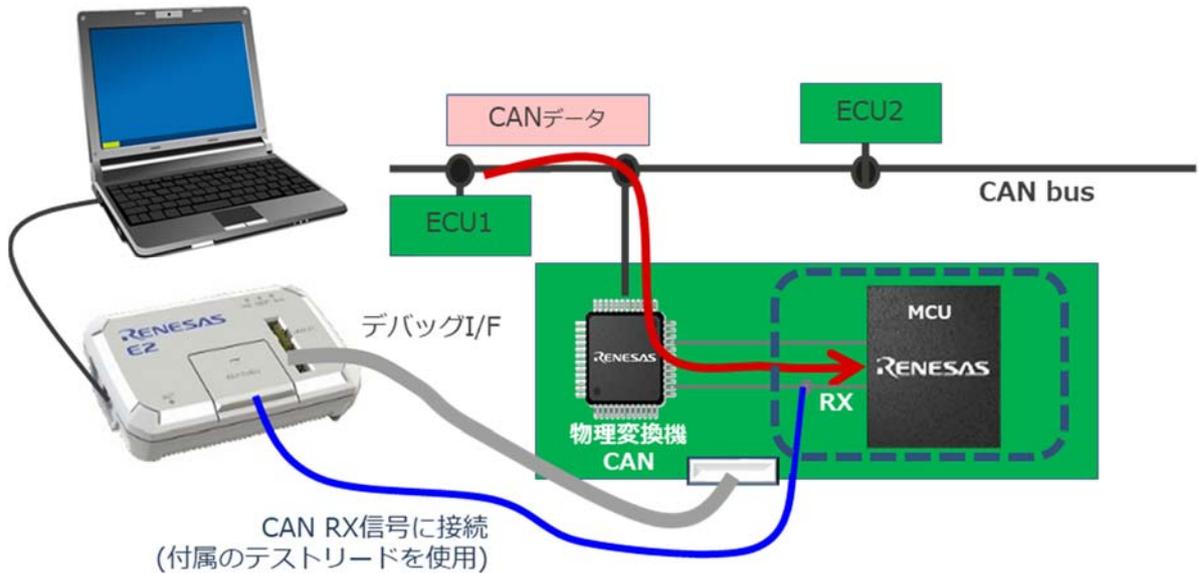
2. CAN 通信時間計測ソリューション

E2 エミュレータは、「お手軽測定」「逃さずキャッチ」「素早く特定」の 3 つのキーワードで CAN 通信応答時間に関する解析効率の向上に寄与します。



● お手軽測定

E2エミュレータだけでCAN通信応答時間を簡単測定

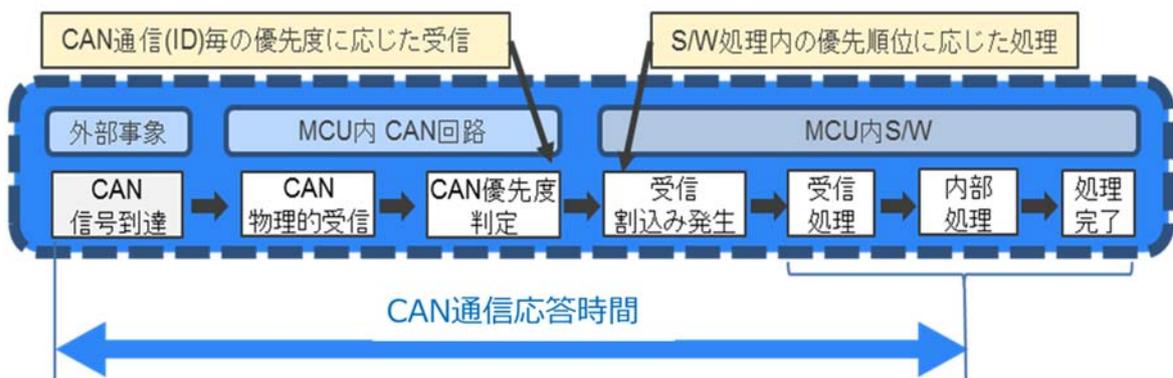


高価な CAN アナライザを使用せずに E2 エミュレータだけで、CAN 通信において重要な応答時間の測定を簡単に行うことができます。

測定手段は、MCU の RX 信号と E2 エミュレータを付属のテストリードで接続するだけです。

● 逃さずキャッチ

「設定時間 < CAN通信応答時間」の場合にブレイク可能

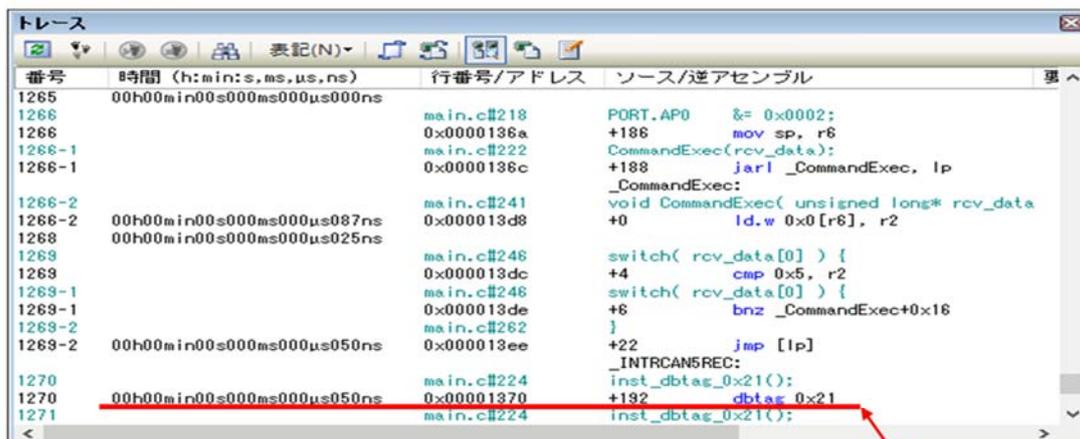


お客様が設定した CAN 通信応答時間が設計値に収まらない時に、E2 エミュレータではプログラムを停止させることができます。

- 素早く特定

測定終了箇所からトレースデータを確認し問題箇所を特定

トレース結果



CAN通信応答時間の測定完了箇所

CAN通信履歴

[時間]	[種別]	[内容]
0h 00m 00s 251ms 430us 266	CAN	ID=0x3E6 DLC=0x8 DATA=0xE603000000000000 Ack=0
0h 00m 00s 251ms 680us 375	CAN	ID=0x3E7 DLC=0x8 DATA=0xE703000000000000 Ack=0
0h 00m 00s 251ms 924us 950	SWTrace	DBTAG 0x021

CAN 通信履歴から CAN 通信応答時間測定終了箇所を把握し、測定完了箇所からトレースデータを確認することで、プログラムの問題箇所を素早く特定できます。

3. 購入方法

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。

価格についても同様にお問い合わせください。

製品名	E2 エミュレータ
発注型名	RTE0T00020KCE00000R

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2018.07.01	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先
<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。